

事業計画書

事業名	障害者・高齢者のためのPCお助けサロン事業
実施場所	沼津市大手町1-1-3
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 2019年4月1日～2020年3月31日

◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載して下さい（事業の紹介などで使用します）。

障害者・高齢者を対象としてパソコン等の指導を行い、老若男女の就労支援の場所とします。その中で、高齢者も操作しやすい環境作りを行います。
就労支援につながるイベントも企画し、実施します。

◎目的

※何を目的として実施する事業であるか（事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか）を記載して下さい。

障害者を対象にしたパソコン操作等の事業は、まだ少ないように思います。
視覚障害者は特にパソコン操作も困難を要します。また、視覚障害者が所有している盲導犬の普及活動にも貢献していける事業です。

◎実施内容

日程	実施項目・作業項目
4月から 毎週水曜日をパソコン教室の開催日とします。	<p>※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容（打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検定会）、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。</p> <p>【PCお助けサロン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沼津市大手町1-1-3 沼津商連会館ビル9階会議室で毎週水曜日として障害者・高齢者を対象にパソコン教室を開催します。 ・特に視覚障害者はディスプレイが使いません。特別な音声ソフトによってキーボード操作が必要になります。 ・また、盲導犬を使っている障害者もいるので普及活動の一助にも貢献できると考えます。 ・パソコン操作では、スキルアップを目指し、就労に結び付けていきます。 ・ここでは、高齢者の方も多く交流の場所としても使えます。 ・会議室は10人程度使用できます。 <p>【イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PCお助けサロン以外に就労支援につながるイベントを企画（2回程度）します。 ・話し方教室の先生をお招きしての開催予定です。 <p>【就労支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハローワークの障害者雇用担当の方と連携をしていきます。

◎事業効果

<p>※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。</p> <p>障害者への対応の認識ができます。雇用の創出ができます。沼津市の活性化につながります。住み良いまちづくりの環境整備に役立ちます。</p>		
<p>成果指標</p>	<p>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。</p> <p>沼津市に住む障害者が約1万人手帳を持っています。就労人口を増やしていきます。</p>	<p>指標の検証方法</p> <p>参加メンバー登録をしていきます。そして実態調査をしていきます。</p>
<p>※左記指標の検証方法を記載して下さい。</p>		

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

<p>公益性 ・ 必要性</p>	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。</p> <p>※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。</p> <p>障害者・高齢者のためのパソコン等の指導する場所が少ないため、情報収集を困難としています。そこで情報収集の場になります。</p>
<p>地域性</p>	<p>※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。</p> <p>沼津市の障害者雇用率を上げていくことや沼津駅周辺を拠点とすることで、外出しやすくなります。</p>
<p>先導性</p>	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。</p> <p>当ビル3階にあった県が担当する障害者施設がなくなり、場所の提供の必要性を感じます。その中で高齢者の方の情報交換の場にもなります。また、盲導犬の普及活動の一環にもつながります。</p>
<p>発展性 ・ 継続性</p>	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。</p> <p>※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。</p> <p>話し方教室の講師やハローワークの障害者担当の職員と連携します。より就労に結び付きやすく、継続していければ自立にもつながります。</p>
<p>実現性 ・ 妥当性</p>	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。</p> <p>※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。</p> <p>現在、毎週水曜日に沼津駅南口、沼津商連会館ビル9階会議室においてパソコン教室を開催中です。その中で障害者用の音声パソコンも利用し目の不自由な方でもお使いになれます。</p>
<p>活動に対する熱意</p>	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。</p> <p>障害があることで外出しにくい面が多いと思います。沼津駅周辺に、情報収集の場があれば、気軽に来場できるシステムになっています。特に盲導犬の認知度が、一般の方はまだ低いため、普及活動にも帰依できます。</p>

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

継続事業として、パソコン教室開催時期を増やし、1週間に2回程度まで拡大していき、就労支援につながるイベントについても増やしていきたいと思っています。

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載して下さい。

◎特に高い公益性を有することの説明（ハード部門のみ）

※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。